

AJA リテールインストーラー

リリースノート- Windows v12.3 for AJA KONA, Io and T-TAP Drivers

重要な記載事項 - 必ずお読みください

このドライババージョンは、Windows OS 7, 8.1 (64bit) および Windows 10と互換性があります。初めて AJA 製品を使う場合は、Read Me First 書類およびユーザマニュアルを必ず確認してください。

- ・ Quicktime 7をインストールする必要があります。
- ・ このインストーラーを実行する前に、AJA XENA または AJA Windows など、以前のソフトウェアバージョンをすべてアンインストールします。
- ・ インストールを行う場合は管理者権限でインストーラーを実行することを推奨します。これを行うには、インストーラーを右クリックして「管理者として実行」を選択します。Windows ユーザーアカウント制御(UAC)がオフになっている場合「管理者として実行」オプションが存在しない場合があります。

ソフトウェア

このインストーラーは下記のソフトウェアバージョンと互換性があります。

Adobe

- ・ Premiere Pro - CC, CC 2014, CC 2015
- ・ After Effects - CC, CC 2014, CC 2015
- ・ Photoshop - CC, CC 2014, CC 2015
- ・ Prelude - CC, CC 2014, CC 2015
- ・ SpeedGrade - CC, CC 2014, CC 2015
- ・ Audition - CC, CC 2014, CC 2015

Avid

- ・ Media Composer - 8.0, 8.1, 8.2, 8.3, 8.4

Telestream

- ・ Wirecast - 5.x, 6.x

新機能

- ・ KONA 4 と Io 4K で新たなクローズドキャプションの機能を追加
 - ・ Premiere Pro と AJA Control Room でサポート
 - ・ クローズドキャプションのキャプチャー
 - QuickTime キャプチャー
 - ▶ QuickTime のキャプショントラックにキャプションを追加
 - ▶ .scc と .mcc ファイルを作成
 - DPX キャプチャー
 - ▶ .scc と .mcc ファイルを作成
 - ・ クローズドキャプションの再生
 - ・ 詳細は PDF マニュアルに記載
- ・ Wirecast の出力サポート
 - ・ Wirecast で生成されたグラフィックスオーバーレイのモニター出力
 - ・ T-TAP のサポートを追加
- ・ 新しい AJA System Test 2.0
 - ・ 単体で動作するクロスプラットフォームのアプリケーション
 - ・ 完全に再設計されたユーザーインターフェイス
 - ・ ディスクと PCIe のパフォーマンス測定
 - ・ 新しいシステムレポートツールを追加
- ・ Shotgun Software に含まれる RV と The Foundry software の NUKE で使用するための新たな Linux ドライバー
- ・ KONA 4 と Io 4K の AJA Control Panel に SMPTE 425 の選択を追加
- ・ KONA 4 と Io 4K の AJA Control Panel に Audio ディレイスライダーを追加
 - 入力または出力に 1/10 フレーム単位で最大 6 フレームのオーディオディレイを設定可能
- ・ AJA Control Panel に フォローインプットモードを追加
 - 入力信号に合わせてフレームバッファを自動的に変更
- ・ AJA Control Room に ドロップフレームカウンターを追加
- ・ AJA DPX capture plug-in for Adobe Premiere Pro は 1 回のキャプチャーごとに分かれたディレクトリーを作成する機能を追加
- ・ AJA Control Panel に 「Erase All Prefs」 機能を追加。この機能はドライバーと AJA ソフトウェア全ての環境設定を消去しデフォルト設定にリセットします。

修正点

- ・ Adobe Premiere Pro のシーケンスやソースモニターのフレームレートが AJA ハードウェアのフレームバッファのフレームレートと異なる場合にオーディオの吃りが発生する問題を修正
 - ・ Premiere > 環境設定 > 再生 > ビデオデバイス > AJA デバイス > 設定 > Buffer Mode を「Standard」に設定
- ・ lo 4K の HDMI 入力 が断続的で動作しない時間がある場合、作業の再開時にデバイスの電源を入れ直す必要がある問題を修正
- ・ AJA Control Room および AJA capture plug-in for Adobe Premiere Pro で DVCPProHD のキャプチャーが選択できない、もしくはファイルを作成できない問題を修正
- ・ AJA Control Panel でシングルリンクの SDI が入力されていても常にデュアルリンク SDI 入力のグラフィックを表示していた問題を修正
- ・ AJA Control Room で 8 ビット YUV をキャプチャーし、作成されたファイルが QuickTime Player と Final Cut Pro 7 で再生できない問題を修正
- ・ AJA Control Room で SD をキャプチャーし、作成されたファイルが QuickTime Player と Final Cut Pro 7 で再生できない問題を修正
- ・ Adobe Premiere Pro CC 2015 でシーケンスストリムモードを使用している際のビデオ出力の問題を修正
- ・ KONA 4 と lo 4K が AJA Control Room で 1080i to 720p のクロスコンバージョン使用した際に不正なオーディオが生成される問題を修正
- ・ AJA Control Panel のダウンストリームキーヤーをオンにすることはできるがオフにすることができなくなる問題を修正
- ・ AJA Photoshop Export が Windows 8 でクラッシュする問題を修正
- ・ フレームバッファを正確にゲンロック入力に対して合わせるできない問題を修正。
例：1080i25 のゲンロックはクロックレートが同一であるにも関わらず 4k p50 で使用することができない等
- ・ Adobe Premiere Pro と UHD 対応のカードで HD シーケンスをトリミングする際にカードの設定が UHD モードに置き換わってしまう問題を修正
- ・ lo XT で HDMI 入力の際に 2 チャンネルオーディオまでしか認識しない問題を修正

- ・ Adobe Premiere Pro のキャプチャーやエディットコントロールにおいて 20% の確率で出力が1フレームずれるデッキコントロールの問題をより正確に修正
- ・ Adobe Premiere Pro のバッチキャプチャーをビンから始めようとするときキャプチャーウィンドウのオープンに失敗する問題を修正

このリリースでサポートされる製品

- ・ KONA 4
- ・ KONA 3G
- ・ KONA LHi
- ・ KONA LHe Plus
- ・ lo 4K
- ・ lo XT
- ・ lo Express
- ・ T-TAP

既知の問題

4K/Ultra HD キャプチャーの設定

- ・ 4K/Ultra HD キャプチャーの設定
- ・ 4K/Ultra HD ハイフレームレート(毎秒 60フレーム)のキャプチャーは 高いディスク性能を満たすシステム構成が必要です。AJAは以下設定での動作をテストし確認しています。

System Configuration

- ・ HP Z820 デュアル CPU E5-2650 v2 - 2.6 GHz 6コア以上
- ・ (1フレーム=16ms 以下の ProRes コーデックをデコードするために十分な CPU 速度が必要)
- ・ 32GB のRAM
- ・ SATAドライブ起動の Windowsの8.1
- ・ スロット1 - 空
- ・ スロット2 - KONA 4
- ・ スロット3 - LSI9721-8iCC RAID コントローラー
- ・ スロット4 - LSI9721-8iCC RAID コントローラー
- ・ スロット5 - 空
- ・ スロット6 - GPU

RAID Configuration

- ・ 各 RAID コントローラーは、Intel S3700 200GB x4、または Intel S3500 240GB x6 のいずれかで設定することができます。RAID構成は次のとおりです。
- ・ RAID 0
- ・ 64k Stripe Size
- ・ Always Write Back
- ・ 各コントローラー上の RAID 0 ボリュームをディスクマネージャーでストライプ

ALL

- ・ KONA LHi はオーディオシステムを 1つしか持っていないため、キャプチャーや出力で同時に使用できるオーディオは 1系統のみに制限されます。同時に複数チャンネルの入力と出力に対応したアプリケーションでは、SDI 入力にエンベデッドされたオーディオが使用されます。入力と出力それぞれが一度に独立した状態で使用される場合（入力からのパススルー出力ではなく）のみ 1系統のオーディオチャンネルを使用することができます。
- ・ KONA や Io のデバイスを使用時、システムのスリープはすべきではありません。オペレーティングシステムの設定でスリープを無効にする必要があります。

- ・ lo 4K と KONA 4 は DVCPProHD のような thin raster フォーマットの場合は UFC firmware を使用します。DVCPRO HD のキャプチャーおよび再生は工場出荷時の KONA 4 および lo 4K の 4K ファームウェアでは動作しません。KONA 4 および lo 4K で DVCPRO HD のキャプチャーを行うためには AJA Control Panel の Firmware タブから UFC Mode を適用します。UFC Mode の bitfile はアップ、ダウン、クロスコンバージョンと DVCPRO HD のような 'thin raster' フォーマットをサポートしますが、4K や UltraHD のサポートは含まれません。
- ・ lo Express を Apple MacBook Pro 8,2 以前の BootCamp 環境で使用することは推奨されません。lo Express は Apple MacPro あるいは MacBook Pro 8,3 による BootCamp 環境で動作します。

Wirecast

- ・ lo 4K や KONA 4 のようなマルチチャンネルのデバイスで構成され、ライブのプログラム出力機能を使用する場合には始めに入力の設定を構成する必要があります。この場合、マスタークロック（NTSC もしくは PAL）をデバイスに設定することになります。そうでない場合、デバイスはデフォルトの 1080i 29.97 に設定され、PAL と NTSC のクロックの混合を引き起こす可能性があります。必ず Wirecast を起動する前に AJA Multi Channel Config で入力と出力の全てを設定してください。

Adobe Plug-Ins

- ・ シーケンスとハードウェアのフレームレート設定が異なると、適切なオーディオ出力が得られない場合があります。
 - 720p50/59.94/60 以外の 720p フォーマットで発生する可能性があります。
 - この制限を回避するには、Premiere Pro の再生設定で、AJA ビデオデバイスを「Match Control Panel」に設定します。その後、AJA コントロールパネルを使い、出力に対して 1080 フォーマットへのクロスコンバージョンを設定します。例えば、720p23.98 プロジェクトを使用する場合は、SDI 出力を選択して 1080PsF23.98 フォーマットを選択し設定します。
- ・ Premiere Pro の再生環境設定におけるビデオデバイスに対する遅延制御は機能しません。
- ・ Windows 上での 4K キャプチャーは、DPX キャプチャーのみ動作します。
- ・ システムのスリープは、KONA および lo デバイスを使用時にすべきことではありません。スリープモードをオペレーティングシステムの設定で無効にする必要があります。
- ・ クラッシュキャプチャーにおいて、RS-422 タイムコードをキャプチャーすることは出来ません。RS-422 タイムコードに変えてエンベデッドタイムコードを使用する事を推奨します。
- ・ VFR にプルダウンが追加された場合、タイムコードは調整されません。
- ・ HD-SDI 経由のクラッシュキャプチャーおよびプリントにおいて Varicam フレームレートでの動作は可能ですが、インサート編集やイン・アウト点を指定してのキャプチャーやバッチキャプチャーは行えません。
- ・ パナソニック社製のデッキにインサート編集を掛ける際、正しく編集を行えない場合があります。この問題を回避するためには、メニュー項目 202 "ID SEL" が "OTHER" に設定されていることを確認してください。

- ・ デッキ制御において 3 秒以下のプリロールは推奨しません。
- ・ Premiere Pro のモニタ設定のデフォルトは”最初のフィールド”となっています。インターレースを正しく表示するには”両方のフィールド”を選択してください。Premiere Pro のキャプチャーウィンドウを開いた状態で、デッキのテープが DF から NDF に変更された場合、DF/NDF ステータスを正しく検知できない場合があります。この時、Premiere Pro のキャプチャーウィンドウに表示されるタイムコードは正しくない可能性があります。
 - 同じキャプチャーセッション中に DF と NDF のテープ混在がなければ、この問題はユーザーに影響しません。
 - ▶ 対処方法：テープチェンジ時に表示されるダイアログにてテープ名を与え、OKをクリックする前に新しいテープをスプールしてください。
 - ▶ 回避方法：キャプチャーウィンドウを一度閉じて、再度開きます。
- ・ Panasonic D5 デッキを使用してキャプチャー/テープへ書き出しを行う際は、AJA Premiere Pro Device Control プラグインのタイムコードソース設定を LTC+VITC にしなければなりません。

Avid Open I/O Plug-ins

- ・ AJA デバイスを”オーディオパンチインツール”で使用するためには、”キャプチャーツール”で AJA デバイスを選択している必要があります。
 1. キャプチャーツールを開く
 2. AJA KONA あるいは AJA Io などのビデオ入力を選択
 3. キャプチャーツールを閉じる
 4. オーディオパンチインツールを開く
 5. AJA KONA あるいは AJA Io などの入力デバイスを選択
- ・ Open I/O Plug-ins がインストールされているタイムラインの不特定なループは、Avid アプリケーションの再生停止や、エラーメッセージの原因となる可能性があります。
- ・ KONA 3, KONA 3G, Io XT でデュアルリンク RGB ソースをキャプチャーする場合、E/E されるデュアル SDI 出力は正しくない可能性があります。
- ・ AJA ハードウェアはコントロールパネルを使用してゲンロックを 'Input' と 'Reference' で切り換えることができますが、Media Composer でキャプチャーを行う場合、この選択によってバッチキャプチャーが正しく行えない場合があります。この問題を回避するにはゲンロックを "Input" に設定します。
- ・ アナログビデオ入力は Media Composer のキャプチャーツールに正しく検出されない場合があります。この問題は Media Composer の起動時にソースビデオを再生しておくことで回避できます。